

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年2月7日 (2008.2.7)

【公開番号】特開2002-191831(P2002-191831A)
 【公開日】平成14年7月10日 (2002.7.10)
 【出願番号】特願2000-392369(P2000-392369)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】
 【提出日】平成19年12月14日 (2007.12.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

普通図柄抽選領域に遊技球が進入したことに起因して普通図柄抽選を行う普通図柄抽選手段と、該普通図柄抽選の結果を普通図柄で表示する普通図柄表示手段と、該普通図柄表示手段を制御して普通図柄を変動表示した後に確定表示させる普通図柄制御手段と、前記普通図柄抽選が当たりであると、開放状態では入賞が容易になる可変入賞装置である特別図柄始動装置を、前記普通図柄の確定表示後に開放状態にさせる始動装置制御手段と、前記特別図柄始動装置への入賞に起因して特別図柄抽選を行う特別図柄抽選手段と、該特別図柄抽選の結果を特別図柄で表示する特別図柄表示手段と、前記特別図柄抽選が当たりであったことを必須条件として遊技者に有利な特別遊技を実行する特別遊技実行手段とを備える弾球遊技機において、

前記普通図柄抽選領域への遊技球の進入が検出されたときから前記特別図柄始動装置の開放までの経過時間を各回毎に不決定に決定する時間決定手段を備えたことを特徴とする弾球遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 記載の弾球遊技機において、

前記普通図柄抽選手段による普通図柄抽選には、当たりの確率が相対的に低い低確率抽選と前記当たりの確率が該低確率抽選よりも高い高確率抽選とがあり、

前記時間決定手段は、前記普通図柄抽選が前記高確率抽選で行われるときに作動することを特徴とする弾球遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 記載の弾球遊技機において、

前記普通図柄の変動時間が相対的に長い通常モードと前記変動時間が該通常モードよりも短い時短モードとがあり、

前記時間決定手段は、前記時短モードのときに作動することを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 7
 【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 6
【補正方法】削除
【補正の内容】